

宗勢調査にみる日蓮宗の現状と課題

葬儀・寺庭婦人を中心に

灘 上 智 生

【1】葬儀への取り組み

平成二十四年度の調査で初めて葬儀についての設問が取り入れられました。以前より、仏教界は葬式仏教と揶揄されてきましたが、その時点では他はともかく葬儀はしっかりやっていたことの表れだと思います。しかし近年では葬式・寺・墓の三離れと言われ、葬儀さえも仏教・寺院の下からもぎ取られようとしているのかもしれない。主な収入源が「檀家布施収入」と八一、六%の寺院・教会・結社が答えていることから推察すると、葬儀離れは今後の寺院運営にも直結する問題とも言えます。このような危機が喧伝される中、全国の日蓮宗寺院・教会・結社の葬儀の現状を把握することは、自分の地域では行われていないが今後取り入れたほうが良い内容や、一方で地域によってはいずれやってくる葬儀簡略化の波を事前に察知し、少しでも食い止めるための準備の参考になるのではないのでしょうか。私たちは、自分のところは大丈夫と高を括るのではなく、今後社会が葬式を仏教に信頼して任せてくれるように、一人一人が真剣に葬儀に取り組まなければならない時に来ていることを自覚することが必要であり、この調査はそのための一助となると思います。

【Q3とQ16のクロス表】

Q16. あなたの寺院では、年間何回程度、檀信徒の葬儀をしていますか。

(1) 檀家数と葬儀の回数との関係について

	合計	1回未満	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~30回	31~50回	51~100回	101~200回	201回以上	無回答
全体	3871 100.0%	576 14.9%	1333 34.4%	743 19.2%	437 11.3%	221 5.7%	226 5.8%	86 2.2%	26 0.7%	5 0.1%	1 -	217 5.6%
なし	180 100.0%	136 75.6%	11 6.1%	1 0.6%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	32 17.8%
1~10戸	265 100.0%	183 69.1%	56 21.1%	5 1.9%	1 0.4%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	20 7.5%
11~30戸	456 100.0%	176 38.6%	251 55.0%	9 2.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	20 4.4%
31~50戸	432 100.0%	59 13.7%	333 77.1%	15 3.5%	2 0.5%	1 0.2%	- -	- -	- -	- -	- -	22 5.1%
51~100戸	726 100.0%	14 1.9%	525 72.3%	137 18.9%	15 2.1%	2 0.3%	1 0.1%	- -	- -	- -	- -	32 4.4%
101~150戸	501 100.0%	2 0.4%	130 25.9%	298 59.5%	39 7.8%	8 1.6%	2 0.4%	- -	- -	- -	- -	22 4.4%
151~200戸	358 100.0%	1 0.3%	20 5.6%	181 50.6%	125 34.9%	14 3.9%	3 0.8%	- -	- -	2 0.6%	- -	12 3.4%
201~300戸	409 100.0%	- -	1 0.2%	80 19.6%	199 48.7%	83 20.3%	26 6.4%	4 1.0%	- -	- -	- -	16 3.9%
301~400戸	244 100.0%	- -	- -	10 4.1%	49 20.1%	87 35.7%	79 32.4%	6 2.5%	- -	- -	- -	13 5.3%
401~500戸	114 100.0%	- -	- -	2 1.8%	3 2.6%	18 15.8%	71 62.3%	15 13.2%	1 0.9%	- -	- -	4 3.5%
501~600戸	54 100.0%	- -	- -	2 3.7%	2 3.7%	3 5.6%	27 50.0%	16 29.6%	- -	- -	- -	4 7.4%
601~700戸	29 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	11 37.9%	14 48.3%	- -	- -	- -	4 13.8%
701~800戸	25 100.0%	- -	- -	- -	1 4.0%	2 8.0%	4 16.0%	16 64.0%	1 4.0%	- -	- -	1 4.0%
801~900戸	11 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	2 18.2%	7 63.6%	1 9.1%	- -	- -	1 9.1%
901~1000戸	8 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 37.5%	5 62.5%	- -	- -	- -
1001戸以上	25 100.0%	- -	- -	- -	- -	1 4.0%	- -	4 16.0%	16 64.0%	3 12.0%	1 4.0%	- -
無回答	34 100.0%	5 14.7%	6 17.6%	3 8.8%	1 2.9%	2 5.9%	- -	1 2.9%	2 5.9%	- -	- -	14 41.2%

寺院同士の会合の席などで、年間葬儀の件数は檀家数の5%位であると耳にすることがありますが、これは各寺院が経験則から割り出した数値と考えられます。今回の調査の檀家数（A票Q3の結果）と葬儀の回数（A票Q16の結果）の相互の関係を明らかにすることにより、檀家数と葬儀の回数を見ることができま

計算方法は、葬儀回数の中央値（一〇〇〜五回であれば三回とする）に分布の百分率を乗じて、檀家数ごとの年間回数Xを算出する。しかしXは無回答の比率が考慮されていないので、Xを（一〇〇ー無回答率）で割り、無回答を数値上除外することにより、実際に回答が得られたものみの年間回数Yを算出する。Yを檀家数の中央値（一〇十戸であれば五、五戸）で割ることにより、檀家数に対する葬儀の件数の比率がわかります。

1〜10戸	16.45%
11〜30戸	9.23%
31〜50戸	7.01%
51〜100戸	5.59%
101〜200戸	5.79%
201〜300戸	5.70%
301〜400戸	5.65%
401〜500戸	5.81%
501〜600戸	5.20%
601〜700戸	5.21%
701〜800戸	4.86%
801〜900戸	4.82%
901〜1000戸	6.56%

Q3で檀家なしと答えた寺院の六、七%は葬儀があったと答えています。これは除外しました。また、檀家数千件以上の寺院の場合、件数の中央値が取れないため、計算していません。以上より、檀家数の少ないところは数値にばらつきがありますが、檀家数の約五〜六%の回数の葬儀があることがわかり、従来言われていた内容の裏付けが取れたと言えます。

（2）葬儀について

葬儀という語を広辞苑で調べますと、「死者をほうむる儀式」と出ています。ほうむる（葬る）とは、死体・遺骨

【枕経の教区別表】

Q18. あなたの寺院では、葬儀の際、次のことを実践されていますか。

枕経

		合 計	ほとん ど行っ ている	どち らか とい えば 行っ てい る	どち らか とい えば 行っ てい ない	ほとん ど行っ ない	無回答
教 区 名 別	全 体	3871 100.0%	2754 71.1%	317 8.2%	209 5.4%	326 8.4%	265 6.8%
	京 浜	518 100.0%	124 23.9%	104 20.1%	112 21.6%	147 28.4%	31 6.0%
	千 葉	496 100.0%	289 58.3%	80 16.1%	46 9.3%	59 11.9%	22 4.4%
	北 関 東	169 100.0%	54 32.0%	24 14.2%	26 15.4%	51 30.2%	14 8.3%
	山 静	593 100.0%	510 86.0%	18 3.0%	7 1.2%	14 2.4%	44 7.4%
	中 部	256 100.0%	216 84.4%	6 2.3%	3 1.2%	5 2.0%	26 10.2%
	北 陸	285 100.0%	254 89.1%	3 1.1%	1 0.4%	2 0.7%	25 8.8%
	近 畿	468 100.0%	409 87.4%	29 6.2%	2 0.4%	3 0.6%	25 5.3%
	中 四 国	351 100.0%	272 77.5%	19 5.4%	9 2.6%	27 7.7%	24 6.8%
	九 州	332 100.0%	285 85.8%	17 5.1%	1 0.3%	6 1.8%	23 6.9%
	東 北	226 100.0%	183 81.0%	17 7.5%	2 0.9%	9 4.0%	15 6.6%
	北 海 道	177 100.0%	158 89.3%	- -	- -	3 1.7%	16 9.0%

① 枕経について

を墓所などにおさめることですので、葬儀とは、通夜・葬儀そして埋葬に至る物理的、心理的プロセスの総体を意味することになります。葬儀は、地元の風習や慣習等の地域事情により内容が異なることがあり、一概にこうであるということとはできません。今回の調査でいくつかの葬儀の内容に関して実践しているか否かを問うたわけですが（A票 Q18）、その結果を教区ごとに見ることにより、地域的傾向があることが分かります。

枕経について、「どちらかというとなっていない」と「ほとんど行っていない」の合計を見ますと、京浜教区は五〇%、北関東教区は三五、六%と高く、京浜・北関東では枕経があまり行われなくなってきました。一方、山静・中部・北陸・近畿・九州・東北・北海道教区は八〇〜九〇%が、ほとんど枕経を行っていると答えており、高い実践率を維持していると言えます。

枕経は、新寂霊の枕元で営む読経であることはもちろんですが、遺族にとっては突然の家族の死で動転している気持ちも少しでも落ち着かせる一助になると思います。僧侶にとっては、その後に執り行われる通夜や葬儀の打ち合わせもできますので、遺族の満足のいく葬儀のためにも実践した方が良いと思います。しかし、現実には檀家が遠くに住んでいて、すぐに伺うことのできないといった距離的な問題や、ご遺体を自宅に帰さずに葬儀場に直接連れて行ってしまうといったことにより、枕経の実践が困難になっている場合があります。居住環境や葬儀場所などの変化により、今後枕経が減少していく可能性があります。是非とも実践を続けていただきたいと思っています。

② 納棺への立ち会いについて

納棺への立ち会いを「ほとんど行なっている」と答えている比率が高いのは、北陸六六、七%・東北五四、九%・山静五三、三%の教区であり、他の教区は「ほとんど行なっていない」と答える比率が四〇〜五〇%と高くなっています。納棺立ち会いをする地域としない地域が分かれており、これは地域事情によるところが大きいと考えられます。従来、納棺に際し、経帷子を着せ、数珠を左手首にかけて手を胸に組ませ、手甲・脚絆・足袋・草履・六道銭を入れた頭陀袋・杖などを身に持たせることが行われてきました。葬儀を死出の旅立ちと見なすことで、その様な死装束をまとっていたわけですが、近年では減少傾向で、生前の愛用の服などを身にまとう場合が多くなってきているのではないのでしょうか。納棺に立ち会わないということは、葬儀社主導で納棺が行われることとなりますので、当然従来

【納棺への立ち会いの教区別表】

Q18. あなたの寺院では、葬儀の際、次のことを実践されていますか。

納棺への立ち会い

		合 計	ほとん ど行っ ている	どち らかと いえば 行っ ている	どち らかと い え ば 行 っ て い ない	ほとん ど行っ て い ない	無回答
教 区 名 別	全 体	3871 100.0%	1169 30.2%	271 7.0%	528 13.6%	1620 41.8%	283 7.3%
	京 浜	518 100.0%	68 13.1%	47 9.1%	105 20.3%	266 51.4%	32 6.2%
	千 葉	496 100.0%	129 26.0%	34 6.9%	79 15.9%	230 46.4%	24 4.8%
	北 関 東	169 100.0%	26 15.4%	23 13.6%	26 15.4%	78 46.2%	16 9.5%
	山 静	593 100.0%	316 53.3%	21 3.5%	57 9.6%	155 26.1%	44 7.4%
	中 部	256 100.0%	75 29.3%	14 5.5%	32 12.5%	109 42.6%	26 10.2%
	北 陸	285 100.0%	190 66.7%	9 3.2%	15 5.3%	47 16.5%	24 8.4%
	近 畿	468 100.0%	64 13.7%	43 9.2%	88 18.8%	243 51.9%	30 6.4%
	中 四 国	351 100.0%	72 20.5%	36 10.3%	31 8.8%	185 52.7%	27 7.7%
	九 州	332 100.0%	56 16.9%	18 5.4%	55 16.6%	176 53.0%	27 8.1%
	東 北	226 100.0%	124 54.9%	18 8.0%	20 8.8%	49 21.7%	15 6.6%
	北 海 道	177 100.0%	49 27.7%	8 4.5%	20 11.3%	82 46.3%	18 10.2%

の死装束ではなく、故人の好きだった服でとなるのも当然の傾向だと考えられます。

【通夜・葬儀での法話の教区別表】

Q18. あなたの寺院では、葬儀の際、次のことを実践されていますか。

通夜、葬儀での法話

		合 計	ほとん ど行っ ている	どち らか とい え ば 行 っ て い る	どち らか とい え ば 行 っ て い ない	ほと ん ど 行 っ て い ない	無回答
教 区 名 別	全 体	3871 100.0%	2518 65.0%	446 11.5%	269 6.9%	369 9.5%	269 6.9%
	京 浜	518 100.0%	332 64.1%	63 12.2%	41 7.9%	51 9.8%	31 6.0%
	千 葉	496 100.0%	343 69.2%	65 13.1%	33 6.7%	33 6.7%	22 4.4%
	北 関 東	169 100.0%	108 63.9%	16 9.5%	17 10.1%	13 7.7%	15 8.9%
	山 静	593 100.0%	429 72.3%	47 7.9%	23 3.9%	50 8.4%	44 7.4%
	中 部	256 100.0%	150 58.6%	24 9.4%	23 9.0%	32 12.5%	27 10.5%
	北 陸	285 100.0%	182 63.9%	27 9.5%	26 9.1%	26 9.1%	24 8.4%
	近 畿	468 100.0%	271 57.9%	72 15.4%	38 8.1%	60 12.8%	27 5.8%
	中 四 国	351 100.0%	220 62.7%	50 14.2%	25 7.1%	32 9.1%	24 6.8%
	九 州	332 100.0%	162 48.8%	52 15.7%	37 11.1%	58 17.5%	23 6.9%
	東 北	226 100.0%	166 73.5%	26 11.5%	6 2.7%	13 5.8%	15 6.6%
	北 海 道	177 100.0%	155 87.6%	4 2.3%	- -	1 0.6%	17 9.6%

③ 通夜・葬儀での法話について

全体では「ほとんど行なっている」と「どちらかといえば行っている」の合計が七六、五%となり、多くの寺院が通夜や葬儀で法話をしていることが分かります。特に北海道教区は「ほとんど行っている」が八七、六%と高い比率で、地域として法話が盛んであることが分かります。一方、九州教区は「ほとんど行っている」が四八、八%と半数を切っており、「どちらかといえば行なっていない」と「ほとんど行なっていない」の合計が二八、六%と法話をあまり実践しない寺院が三割近くあるということが分かりました。

【通夜・葬儀での本尊奉掲の教区別表】

Q18. あなたの寺院では、葬儀の際、次のことを実践されていますか。

通夜、葬儀での本尊奉掲

		合 計	ほとん ど行っ ている	どち らか とい えは 行っ てい る	どち らか とい えは 行っ てい ない	ほとん ど行 って ない	無回答
教 区 名 別	全 体	3871 100.0%	2620 67.7%	409 10.6%	215 5.6%	337 8.7%	290 7.5%
	京 浜	518 100.0%	277 53.5%	104 20.1%	35 6.8%	70 13.5%	32 6.2%
	千 葉	496 100.0%	238 48.0%	90 18.1%	65 13.1%	79 15.9%	24 4.8%
	北 関 東	169 100.0%	72 42.6%	25 14.8%	21 12.4%	35 20.7%	16 9.5%
	山 静	593 100.0%	444 74.9%	43 7.3%	22 3.7%	33 5.6%	51 8.6%
	中 部	256 100.0%	180 70.3%	23 9.0%	13 5.1%	14 5.5%	26 10.2%
	北 陸	285 100.0%	241 84.6%	10 3.5%	5 1.8%	5 1.8%	24 8.4%
	近 畿	468 100.0%	363 77.6%	26 5.6%	12 2.6%	39 8.3%	28 6.0%
	中 四 国	351 100.0%	272 77.5%	26 7.4%	7 2.0%	19 5.4%	27 7.7%
	九 州	332 100.0%	246 74.1%	29 8.7%	14 4.2%	16 4.8%	27 8.1%
	東 北	226 100.0%	141 62.4%	28 12.4%	19 8.4%	22 9.7%	16 7.1%
	北 海 道	177 100.0%	146 82.5%	5 2.8%	2 1.1%	5 2.8%	19 10.7%

④ 通夜・葬儀での本尊奉掲について
 全体では「ほとんど行っている」と「どちらかといえば行っている」の合計が七八、三%となり、多くの寺院は通夜・葬儀で本尊を奉掲していることが分かります。「ほとんど行っている」の比率が高かったのは、北陸八四、六%

通夜・葬儀における法話は、普段あまり口にしにくい死というテーマを中心に教えを説くことのできる機会となりますので、事情が許すのであれば実践する方が良いと思います。

と北海道八二、五％でした。一方、「ほとんど行っていない」と答えた比率の高かったのは、北関東二〇、七％、千葉一五、九％、京浜一三、五％でした。

通夜の折に御本尊を持っていき、既に飾り付の終わった祭壇に後から御本尊を奉掲するのは難しいとも考えられますが、携帯用の御本尊などコンパクトで場所をとらないものなどを奉掲するなど、教師それぞれが工夫することにより、必ず御本尊を奉掲するようにしましょう。

⑤火葬場への同行について

全体では「ほとんど行なっている」と「どちらかといえは行っている」の合計が八〇、二％となり、多くの寺院で火葬場への同行が行われていることがわかります。しかし、九州三九、二％、北海道三四、五％が「ほとんど行っていない」と答えています。これは、葬儀の流れの中で、葬儀の前に火葬が行われ御遺骨の状態で葬儀を行うということが可能性としては考えられますが、実際のところは、再調査が必要と思います。

火葬場への同行は、地域によって時間は異なりますが一時前後の長い時間を同じ部屋で過ごすこととなります。その間にする話は、遺族にとっては家族の死を受け止めるための貴重な会話になりますし、その時間は私たち僧侶にとって遺族の悲嘆に寄り添う大切な時間とも言えます。

【火葬場への同行の教区別表】

Q18. あなたの寺院では、葬儀の際、次のことを実践されていますか。

火葬場への同行

		合 計	ほとん ど行っ ている	どち らかと いえば 行っ ている	どち らかと いえば 行っ てい ない	ほとん ど行っ てい ない	無回答
教 区 名 別	全 体	3871 100.0%	2927 75.6%	180 4.6%	140 3.6%	357 9.2%	267 6.9%
	京 浜	518 100.0%	402 77.6%	62 12.0%	7 1.4%	17 3.3%	30 5.8%
	千 葉	496 100.0%	439 88.5%	16 3.2%	5 1.0%	14 2.8%	22 4.4%
	北 関 東	169 100.0%	122 72.2%	13 7.7%	10 5.9%	9 5.3%	15 8.9%
	山 静	593 100.0%	501 84.5%	8 1.3%	9 1.5%	29 4.9%	46 7.8%
	中 部	256 100.0%	206 80.5%	10 3.9%	4 1.6%	9 3.5%	27 10.5%
	北 陸	285 100.0%	182 63.9%	15 5.3%	19 6.7%	45 15.8%	24 8.4%
	近 畿	468 100.0%	433 92.5%	5 1.1%	1 0.2%	4 0.9%	25 5.3%
	中 四 国	351 100.0%	264 75.2%	18 5.1%	15 4.3%	31 8.8%	23 6.6%
	九 州	332 100.0%	118 35.5%	19 5.7%	42 12.7%	130 39.2%	23 6.9%
	東 北	226 100.0%	200 88.5%	2 0.9%	1 0.4%	8 3.5%	15 6.6%
	北 海 道	177 100.0%	60 33.9%	12 6.8%	27 15.3%	61 34.5%	17 9.6%

⑥ 初七日忌法要について

全体では「ほとんど行っている」と「どちらかといえれば行っている」の合計が九〇%となり、多くの寺院で初七日忌法要が実践されていることが分かります。

それをいつ行うかに関しては、全体では「葬儀当日、葬儀とは別に」（繰り上げの初七日）が五六、八%、「葬儀中」（付け七日）が二四、七%、「葬儀とは別の日取りで」が一七、二%となり、本来の初七日忌を実践している寺院が一

【初七日忌法要をいつ主に行っているかの教区別表】

Q18. それは主にいつ行っていますか。

		該当数	葬儀中	葬儀当日、 葬儀とは別に	葬儀とは別の日取りで	無回答
教区名別	全 体	516 100.0%	868 24.7%	1996 56.8%	606 17.2%	46 1.3%
	京 浜	473 100.0%	171 36.2%	288 60.9%	12 2.5%	2 0.4%
	千 葉	462 100.0%	277 60.0%	166 35.9%	17 3.7%	2 0.4%
	北 関 東	148 100.0%	81 54.7%	61 41.2%	4 2.7%	2 1.4%
	山 静	531 100.0%	145 27.3%	338 63.7%	41 7.7%	7 1.3%
	中 部	226 100.0%	44 19.5%	173 76.5%	8 3.5%	1 0.4%
	北 陸	259 100.0%	24 9.3%	142 54.8%	87 33.6%	6 2.3%
	近 畿	440 100.0%	22 5.0%	376 85.5%	37 8.4%	5 1.1%
	中 四 国	315 100.0%	40 12.7%	216 68.6%	57 18.1%	2 0.6%
	九 州	306 100.0%	12 3.9%	130 42.5%	154 50.3%	10 3.3%
	東 北	197 100.0%	43 21.8%	89 45.2%	61 31.0%	4 2.0%
	北 海 道	159 100.0%	9 5.7%	17 10.7%	128 80.5%	5 3.1%

番低い比率となりました。

葬儀中に行う比率が高いのが千葉六〇%、北関東五四、七%でした。式場の都合で、火葬後の初七日忌が行えないことや、葬儀前に火葬するため葬儀に引き続いて行うことが理由として考えられますが、実際のところは再調査が必要だと思います。

一方、葬儀とは別の日に初七日忌を行う比率が高いのが北海道八〇、五%、九州五〇、三%となりました。この結果は、火葬場への同行の率が低い教区と一致しています。火葬場への同行は、待ち時間が遺族とのコミュニケーション

ンの貴重な時間となりますが、同行しない場合、初七日忌を後日行うことで、遺族に丁寧な対応をすることが可能となつていると考えられます。

⑦ 中陰忌（五七日忌や七七日忌）法要と埋葬時の墓前経について

【中陰忌法要の教区別表】

Q18. あなたの寺院では、葬儀の際、次のことを実践されていますか。

中陰忌（五七日忌や七七日忌）法要

		合計	ほとんど行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	ほとんど行っていない	無回答
教区名別	全体	3871 100.0%	3145 81.2%	276 7.1%	60 1.5%	85 2.2%	305 7.9%
	京浜	518 100.0%	417 80.5%	38 7.3%	10 1.9%	17 3.3%	36 6.9%
	千葉	496 100.0%	383 77.2%	48 9.7%	17 3.4%	20 4.0%	28 5.6%
	北関東	169 100.0%	125 74.0%	19 11.2%	2 1.2%	5 3.0%	18 10.7%
	山静	593 100.0%	495 83.5%	22 3.7%	13 2.2%	11 1.9%	52 8.8%
	中部	256 100.0%	215 84.0%	11 4.3%	2 0.8%	1 0.4%	27 10.5%
	北陸	285 100.0%	243 85.3%	11 3.9%	4 1.4%	2 0.7%	25 8.8%
	近畿	468 100.0%	393 84.0%	43 9.2%	1 0.2%	4 0.9%	27 5.8%
	中四国	351 100.0%	287 81.8%	21 6.0%	4 1.1%	12 3.4%	27 7.7%
	九州	332 100.0%	276 83.1%	24 7.2%	2 0.6%	3 0.9%	27 8.1%
	東北	226 100.0%	159 70.4%	33 14.6%	4 1.8%	10 4.4%	20 8.8%
	北海道	177 100.0%	152 85.9%	6 3.4%	1 0.6%	- -	18 10.2%

【埋葬時の墓前経の教区別表】

Q18. あなたの寺院では、葬儀の際、次のことを実践されていますか。

埋葬時の墓前経

		合 計	ほとん ど行っ ている	どち らか とい えは 行っ てい る	どち らか とい えは 行っ てい ない	ほとん ど行っ てい ない	無回答
教 区 名 別	全 体	3871 100.0%	3308 85.5%	163 4.2%	29 0.7%	62 1.6%	309 8.0%
	京 浜	518 100.0%	445 85.9%	21 4.1%	3 0.6%	12 2.3%	37 7.1%
	千 葉	496 100.0%	454 91.5%	14 2.8%	1 0.2%	2 0.4%	25 5.0%
	北 関 東	169 100.0%	131 77.5%	8 4.7%	4 2.4%	8 4.7%	18 10.7%
	山 静	593 100.0%	526 88.7%	7 1.2%	4 0.7%	6 1.0%	50 8.4%
	中 部	256 100.0%	205 80.1%	15 5.9%	2 0.8%	4 1.6%	30 11.7%
	北 陸	285 100.0%	245 86.0%	5 1.8%	3 1.1%	4 1.4%	28 9.8%
	近 畿	468 100.0%	400 85.5%	27 5.8%	3 0.6%	8 1.7%	30 6.4%
	中 四 国	351 100.0%	309 88.0%	9 2.6%	- -	5 1.4%	28 8.0%
	九 州	332 100.0%	263 79.2%	32 9.6%	5 1.5%	6 1.8%	26 7.8%
	東 北	226 100.0%	183 81.0%	15 6.6%	3 1.3%	6 2.7%	19 8.4%
	北 海 道	177 100.0%	147 83.1%	10 5.6%	1 0.6%	1 0.6%	18 10.2%

中陰忌法要と埋葬時の墓前経は、いずれも全体では「ほとんど行っている」と「どちらかといえば行っている」の合計が約九〇%となり、多くの寺院で実践されていることが分かります。

埋葬が中陰忌法要より前に行われるか、後に行われるかは、地域によって異なります。中陰忌法要と埋葬時の墓前経の教区別の「ほとんど行っている」の比率を比較すると、全体では中陰忌法要八一、一%、墓前経八五、五%となっており、中陰忌法要と埋葬時の墓前経は高い比率で両方実践されていることが分かります。ところが千葉教区では中陰忌法要は七七、二%、墓前経は九一、五%、東北教区でも中陰忌法要七〇、四%、墓前経八一、〇%となっております。

り、他の教区に比べて中陰忌法要と埋葬時の墓前経の実施率の差が大きいです。これは、中陰忌法要前に埋葬をしまい、中陰忌法要を行わないことがあるためと考えられます。土葬の時代は、葬儀後に時を経ずして墓所に埋葬をした名残から、火葬後すぐに墓所に埋葬する風習がある地域の可能性もありますので、再度の調査が必要と思います。

⑧ 遺骨の埋葬場所について

遺骨の埋葬場所に関しては、納骨堂の比率が高いのが、北海道三六、七％、九州三〇、一％です。他は寺有墓地か共同墓地に埋葬されています。納骨堂は墓地に比べ必要とする土地が狭くて済む利点がある一方、遺骨を移動しやすく菩提寺を変更しやすいことになりました。

墓離れについて考えると、寺有墓地と納骨堂は改葬・無縁化、合祀・共同墓地は寺離れによる檀信徒の減少が懸念されます。

今回の調査では、いつ火葬するか（通夜前、通夜後葬儀前、葬儀後、その他）、いつ埋葬するか（葬儀終了後その日の内に、四九日を目処に、特に決めていない、その他）、月経の有無を設問すると、より詳しく実情が把握できると思います。

【遺骨の埋葬場所の教区別表】

Q21. あなたの寺院の檀徒は、遺骨をどこへ埋葬（埋蔵・収骨）していますか。

		合 計	寺 墓 有 地	合祀墓	納骨堂	共 同 墓 地	その他	無回答
教 区 名 別	全 体	3871 100.0%	2239 57.8%	35 0.9%	237 6.1%	868 22.4%	215 5.6%	277 7.2%
	京 浜	518 100.0%	387 74.7%	5 1.0%	10 1.9%	56 10.8%	24 4.6%	36 6.9%
	千 葉	496 100.0%	314 63.3%	3 0.6%	2 0.4%	139 28.0%	14 2.8%	24 4.8%
	北 関 東	169 100.0%	119 70.4%	2 1.2%	- -	26 15.4%	9 5.3%	13 7.7%
	山 静	593 100.0%	462 77.9%	- -	7 1.2%	63 10.6%	19 3.2%	42 7.1%
	中 部	256 100.0%	136 53.1%	4 1.6%	9 3.5%	57 22.3%	21 8.2%	29 11.3%
	北 陸	285 100.0%	216 75.8%	2 0.7%	5 1.8%	30 10.5%	9 3.2%	23 8.1%
	近 畿	468 100.0%	246 52.6%	3 0.6%	21 4.5%	145 31.0%	28 6.0%	25 5.3%
	中 四 国	351 100.0%	124 35.3%	4 1.1%	15 4.3%	129 36.8%	53 15.1%	26 7.4%
	九 州	332 100.0%	95 28.6%	8 2.4%	100 30.1%	84 25.3%	17 5.1%	28 8.4%
	東 北	226 100.0%	120 53.1%	3 1.3%	3 1.3%	71 31.4%	13 5.8%	16 7.1%
	北 海 道	177 100.0%	20 11.3%	1 0.6%	65 36.7%	68 38.4%	8 4.5%	15 8.5%

【2】 寺庭婦人への調査

寺庭婦人とは、日蓮宗宗制では「寺院、教会、結社に住職、担任、教導と同居する親族で、本宗の教義を信奉し、寺庭婦人台帳に登録された成年女性」と規定されていますが、実際の人数が正確には把握できないため、宗勢調査においても総数の何%の寺庭婦人が回答しているかが分かりませんが、本調査では全体で三千百七十六人が回答を寄せました。

(1) 寺庭婦人の出身について

過去の調査から寺庭婦人の出身についての比率の推移を見ると、非寺院出身者の比率は平成八年が七六、二%、平成十六年が七五、五%、平成二十四年が七三、九%となっており、約七五%が寺院出身ではないことに変化は見られません。しかし、四人に三人が非寺院出身者ということは、寺に嫁ぐことにより寺庭婦人と見られるのですから、宗制に規定されているように本宗の教義を信奉できるように研修の充実が望まれるのも当然と言えるでしょう。

(2) 寺庭婦人会と研修について

寺庭婦人の研修の場といえ、自坊はもちろんのこと、管区における寺庭婦人会となります。全体の六三、五%が加入していると回答しておりますが、一方寺庭婦人会に加入の比率が低いのが、京浜三五、〇%、近畿四五、四%、東北四七、七%となっております。加入していない理由は、寺庭婦人会がないためが三四、三%、忙しいためが二五、六%となっており、寺庭婦人会未結成が一番の理由にあげられていることから、未結成管区において寺庭婦人会結成が望まれます。

【寺庭婦人会への加入未加入の教区別表】

Q 7. あなたは、宗務所管区の寺庭婦人に加入していますか。

		合 計	加入している	加入していない	わからない	無回答
教 区 名 別	全 体	3176 100.0%	2017 63.5%	785 24.7%	215 6.8%	159 5.0%
	京 浜	454 100.0%	159 35.0%	199 43.8%	72 15.9%	24 5.3%
	千 葉	368 100.0%	252 68.5%	76 20.7%	12 3.3%	28 7.6%
	北 関 東	145 100.0%	86 59.3%	42 29.0%	9 6.2%	8 5.5%
	山 静	486 100.0%	385 79.2%	70 14.4%	17 3.5%	14 2.9%
	中 部	188 100.0%	140 74.5%	30 16.0%	7 3.7%	11 5.9%
	北 陸	211 100.0%	159 75.4%	31 14.7%	17 8.1%	4 1.9%
	近 畿	403 100.0%	183 45.4%	163 40.4%	31 7.7%	26 6.5%
	中 四 国	269 100.0%	186 69.1%	53 19.7%	12 4.5%	18 6.7%
	九 州	299 100.0%	264 88.3%	17 5.7%	4 1.3%	14 4.7%
	東 北	199 100.0%	95 47.7%	75 37.7%	23 11.6%	6 3.0%
	北 海 道	154 100.0%	108 70.1%	29 18.8%	11 7.1%	6 3.9%

研修会・会合・行事等への参加率は、九州七九、三％、山静七四、一％、北陸七三、中部六八、六％、中四国六二、一％の教区が高く、積極的に活動していると言えるでしょう。研修不参加の理由は、忙しいためという理由が三九、四％となり、研修に興味があっても忙しくて参加できない寺庭婦人が多いことを示しています。

また、研修会への参加希望の比率が高い教区は、北陸五一、七％、九州四八、五％、山静四七、九％、中四国四五、四％、中部四四、一％であり、この結果は研修会への参加率の高い教区と一致しています。

研修会に積極的に参加する寺庭婦人は、研修意欲が旺盛であるという当たり前の結果ですが、注目すべきは研修に参加したいが難しいと回答した寺庭婦人は全体の二九、六％で、研修に参加したいが忙しくて参加できないという現

【寺庭婦人研修会の参加率の教区別表】

Q 9. あなたは、寺庭婦人に関する研究会、会合、行事等に参加したことがありますか。

		合 計	はい	いいえ	無回答
教 区 名 別	全 体	3176 100.0%	1801 56.7%	1209 38.1%	166 5.2%
	京 浜	454 100.0%	182 40.1%	250 55.1%	22 4.8%
	千 葉	368 100.0%	177 48.1%	163 44.3%	28 7.6%
	北 関 東	145 100.0%	60 41.4%	76 52.4%	9 6.2%
	山 静	486 100.0%	360 74.1%	106 21.8%	20 4.1%
	中 部	188 100.0%	129 68.6%	48 25.5%	11 5.9%
	北 陸	211 100.0%	154 73.0%	51 24.2%	6 2.8%
	近 畿	403 100.0%	191 47.4%	185 45.9%	27 6.7%
	中 四 国	269 100.0%	167 62.1%	86 32.0%	16 5.9%
	九 州	299 100.0%	237 79.3%	48 16.1%	14 4.7%
	東 北	199 100.0%	78 39.2%	115 57.8%	6 3.0%
	北 海 道	154 100.0%	66 42.9%	81 52.6%	7 4.5%

実を示しているのではないのでしょうか。

本年度は、伝道部による寺庭婦人・寺族研修会が福岡・北海道・岡山・宗務院の四ヶ所において開催されました。昨年度までは、宗務院にて年一回寺庭婦人会代表者会議と研修という形式で開催されておりましたが、本年度はより多くの寺庭婦人の方々が研修に参加できるようになり、宗勢調査結果から分かりました寺庭婦人からの要望に素早い対応を示した形となり、評価される研修会となるのではないのでしょうか。

(3) 寺庭婦人の悩みについて

現在の悩みについて三つ以内で尋ねたところ、「特になし」が二九、六九%と最も多かったのですが、次いで「経済的に不安である」二六、六五%、「自分の時間が持てない」二四、〇〇%で、これらは年代別に偏りは見られませんでした。「後継者問題」一八、八三%は年代が高くなるにつれて比率が増加し、自分たちの年齢が高くなるのと、次世代への引き継ぎということが大きな課題となっていることがわかります。また「檀信徒からの相談や質問に答えられない」八、一四%と「寺庭婦人として特別な目で見られる」六、二二%の比率は年代が高くなるにつれて減少しています。これは経験を積むことによりそれらの悩みは解消することがわかります。

【悩みの内容結果と年代別のデータとのクロス表】

Q2 年代 × Q15 いまの悩みごと

	後継者 問題	檀信徒 からの 相談や 質問に 答えら ない	人間 関係	経済的 に不安 である	自分 の時間 が持て ない	結婚前 のイメージ とかけ 離れて いる	お寺の 行事が よくなる かわら ない	寺庭婦 人として 特別な 目で見 られる	実際が で 交際 ある	自分の 信仰が 深めら れない	その他	特 な に し	総 計
20代	2 4.55%	13 29.55%	2 4.55%	10 22.73%	11 25.00%	2 4.55%	4 9.09%	5 11.36%	2 4.55%	1 2.27%	0 0.00%	15 34.09%	44 100.00%
30代	37 12.63%	49 16.72%	36 12.29%	89 30.38%	54 18.43%	31 10.58%	15 5.12%	24 8.19%	10 3.41%	19 6.48%	7 2.39%	81 27.65%	293 100.00%
40代	89 16.76%	67 12.62%	83 15.63%	149 28.06%	119 22.41%	44 8.29%	11 2.07%	47 8.85%	11 2.07%	29 5.46%	18 3.39%	156 29.38%	531 100.00%
50代	153 19.95%	55 7.17%	85 11.08%	227 29.60%	213 27.77%	51 6.65%	15 1.96%	49 6.39%	34 4.43%	42 5.48%	39 5.08%	208 27.12%	767 100.00%
60代	164 20.27%	39 4.82%	98 12.11%	205 25.34%	214 26.45%	26 3.21%	6 0.74%	41 5.07%	21 2.60%	36 4.45%	19 2.35%	243 30.04%	809 100.00%
70代	81 20.00%	17 4.20%	40 9.88%	94 23.21%	98 24.20%	8 1.98%	5 1.23%	19 4.69%	12 2.96%	16 3.95%	11 2.72%	127 31.36%	405 100.00%
70代 以上	43 25.00%	6 3.49%	15 8.72%	31 18.02%	16 9.30%	2 1.16%	2 1.16%	3 1.74%	4 2.33%	4 2.33%	13 7.56%	67 38.95%	172 100.00%
総計	569 18.83%	246 8.14%	359 11.88%	805 26.65%	725 24.00%	164 5.43%	58 1.92%	188 6.22%	94 3.11%	147 4.87%	107 3.54%	897 29.69%	3021 100.00%

※右辺総計はQ5の単純集計をベースとしている。

悩みに関して寺院非寺院出身別で見ると、「経済的に不安である」は、寺院出身が二一、六三%、非寺院出身が二八、一二%となっており、一般的には寺院は裕福とのイメージが世間ではあるようですが、嫁いでみると実際は経済的に苦しいことを表しているように思います。また「結婚前のイメージとかけ離れている」という悩みは、寺院出身が二、〇七%、非寺院が六、三九%となっており、寺院出身の場合、育ってきた環境が嫁いでもあまり変わらないことで、イメージのギャップに苦しむことは少ないと考えられます。

【悩みの内容結果と寺院出身非出身のデータとのクロス表】

Q5 寺院・非寺院の出身 × Q15 いまの悩みごと

	後継者 問題	檀信徒 からの 相談や 質問に 答えら れない	人 間 関 係	経済的 に不安 である	自分 の時間 がな い	結婚前 のイメ ジと かけ離 れている	お寺の 行事が よくな らない	寺庭婦 人とし て特別 な見ら れる	交際が で ある	自分の 信仰が 深めら れない	その他	特 に し	総 計
寺院出身	137 20.30%	46 6.81%	80 11.85%	146 21.63%	177 26.22%	14 2.07%	8 1.19%	34 5.04%	17 2.52%	32 4.74%	30 4.44%	223 33.04%	675 100.00%
非寺院 出 身	430 18.32%	200 8.52%	279 11.89%	660 28.12%	549 23.39%	150 6.39%	50 2.13%	154 6.56%	77 3.28%	115 4.90%	78 3.32%	674 28.72%	2347 100.00%
総 計	567 18.76%	246 8.14%	359 11.88%	806 26.67%	726 24.02%	164 5.43%	58 1.92%	188 6.22%	94 3.11%	147 4.86%	108 3.57%	897 29.68%	3022 100.00%

※右辺総計はQ5の単純集計をベースとしている。

(4) 寺庭婦人が宗門に期待すること
について

二十代は、「相談窓口の充実」が他の年代に比べ一八、一八%と高い比率を示しています。寺に嫁いだばかりで色々と疑問に思ったらそれを気軽に問い合わせることのできる窓口があればということでしょう。また六十代は寺庭婦人の福祉共済の充実が三四、九八%と高い比率を示しており、大半が国民年金のため、経済的な不安のあることがわかります。

寺で厚生年金や独自で年金型の保険に入っているか設問に加えることにより、経済的な不安を各自解消する準備の喚起が期待できると思います。

【年代別の宗門に期待することの表】

Q2 年代 × Q16 宗門に期待すること

	寺庭婦人強 会化の拡充	寺庭夫 人対象 をす る各 種充 実	寺庭婦 人種 充 実	寺庭婦 人資 料充 実	寺庭婦 人共 済充 実	相談窓 口の充 実	そ の 他	特になし	総 計
20代	2 4.55%	9 20.45%	12 27.27%	6 13.64%	8 18.18%	1 2.27%	21 47.73%	44 100.00%	
30代	19 6.48%	42 14.33%	92 31.40%	67 22.87%	26 8.87%	7 2.39%	113 38.57%	293 100.00%	
40代	24 4.52%	73 13.75%	146 27.50%	129 24.29%	31 5.84%	12 2.26%	233 43.88%	531 100.00%	
50代	48 6.26%	174 22.69%	237 30.90%	240 31.29%	51 6.65%	16 2.09%	241 31.42%	767 100.00%	
60代	59 7.29%	175 21.63%	228 28.18%	283 34.98%	40 4.94%	13 1.61%	241 29.79%	809 100.00%	
70代	37 9.14%	64 15.80%	95 23.46%	107 26.42%	24 5.93%	7 1.73%	134 33.09%	405 100.00%	
70代 以上	17 9.88%	23 13.37%	26 15.12%	31 18.02%	8 4.65%	5 2.91%	82 47.67%	172 100.00%	
総計	206 6.82%	560 18.54%	836 27.67%	863 28.57%	188 6.22%	61 2.02%	1065 35.25%	3021 100.00%	

※右辺総計はQ2の単純集計をベースとしている。